

# 軍艦島試験施工経過など共有

## 十河氏が土木学会・吉田賞に

土木学会  
九州支部  
5県診断



広島県コンクリート診断士会(竹田宣典会長)など中国5県のコンクリート診断士会は5月29日、2026年度の情報提供会を開催し、5県の診断士会会員ら約70人が参加。「軍艦島における塩害補修への取り組み」を披露した広島県の江良和徳副会長をトップバッターに各会の代表者が順に登壇し、コンクリートの維持管理のための取り組みに関する最新知見を共有した。

情報提供会は、情報共有や交流などを目的に毎年各県の診断士会が持ち回りで開催しているもの。主催者あいさつで竹田会長(写真)、広島工業大学は、「今年度から5年間の国土強靱化実施中期計画においても、コンクリート診断士は非常に重要な役割を果たすことが予測されるが、現在はご存知のように人手不足。今回のような機会を通じて経験を伝え、情報共有を図ることが必要だ。ぜひとも活発な議論をお願いしたい」と呼びかけた。

長は、長崎県の軍艦島(端島)の著しい塩害環境を利用して実施している供試体暴露試験や70号棟を対象とした試験施工の取り組み内容を説明し、亜硝酸リチウムによる表面含浸、表面被覆、ひび割れ注入、内部圧入など比較結果のほか、参加企業による様々な塩害補修工法の試験施工の経過を解説。

岡山県の増田智彦会長(エイト日本技術開発)は、「岡山県橋梁点検マニュアルの改定と新技術・点検支援技術の紹介」、島根県の松浦寛司会長(同)は「島根県コンクリート診断士会トピックス2026」、鳥取県の勝原貴氏(やまこう建設)は「橋梁補修・補強工事での事例・ギモン等」、山口県の瀬原洋一会長(トキワコンサルタンツ)は「老朽化橋の対処について」をテーマにそれぞれ活動内容を紹介した。

また、広島県コンクリート診断士会の前会長を務めた十河茂幸氏(近未来コンクリート研究会)が土木学会の吉田賞(25年、研究業績部門)を受賞したことも報告された。同氏が大林組から広島工業大学教授を経て現在に至るまで手掛けてきた「コンクリートの製造と施工における品質向上に関する研究」に関する実績が評価されたもので、十河氏は「個人というよりチームでの賞だと考えているが、受賞させていただいたことは本当に光栄。皆様のご協力に感謝を申し上げます」と述べた。

建築士事務所の運営や技術力向上に資する講習会の実施▽協会の魅力向上▽委員会活動の活性化▽建築士事務所登録業務及び法廷講習の着実な実施▽建築系学生等へのリクルート事業推進▽行政への要望活動の活性化の7項目を重点事項に位置付け、各種事業を積極的に進める。

会長職を2期4年務めた豊田氏は謝意を伝えた上で、「激変の時代だからこそ、脱炭素社会の実現やDXの推進といった新たな挑戦を通じ、持続可能な未来をデザインする建築設計の役割と存在意義はますます高まっている。荒波をチャンスととらえ、智

総会で退任する役員(5人)への感謝状贈呈や永年勤続優秀職員表彰(8人)、さらに、同協会主催の第12回「ひろしま建築文化賞」の表彰式があわせて行われた。

新しい理事・監事は次の通り。

◆は新任、敬称略  
【理事】▽久保井邦宏(アトリエドリーム)▽柳河元木(アリアクデザインスタジオ)▽大上信一(池崎設計)▽山光賢作(NTTファシリティーズ一級建築士事務所中国支店)

▽大旗祥(大旗連合建築設計)▽岡田泰司(岡田積算建築設計)▽岡本弘(カーン建築構造事務所)▽小瀧浩治(近代設計コンサルタンツ)▽車田寛(車田建築設計事務所)▽小西琢真(小西建築設計事務所)▽正木繁康(ゆくら建築設計)▽砂原傑(砂原組一級建築士事務所)▽

▽大旗祥(大旗連合建築設計)▽岡田泰司(岡田積算建築設計)▽岡本弘(カーン建築構造事務所)▽小瀧浩治(近代設計コンサルタンツ)▽車田寛(車田建築設計事務所)▽小西琢真(小西建築設計事務所)▽正木繁康(ゆくら建築設計)▽砂原傑(砂原組一級建築士事務所)▽

### 人事異動

大本組  
6月1日

広島支店建築部長兼ビル管理課長(広島支店建築部作業所次長)菅雅文

### 社団法人 広島県

豊田前会長

建築設計▽砂原傑(砂原組一級建築士事務所)▽

菅雅文